

「特集」未来への願いが届きますように

仙台七夕まつり いよいよ開幕!

毎年全国から200万人以上のお客様をお迎えしている「仙台七夕まつり」。今年も「つなぐ」をテーマに8月6日(火)〜8日(木)に開催されます。今号では、七夕まつりをこれまで以上に楽しむためのポイントをお伝えします。

商店街の皆さんと市民の皆さんが力を合わせて守り続けてきた伝統の笹飾りが、真夏の風にたなびくのはもうすぐ。

今年も仙台七夕まつりにみんなで参加して、仙台七夕の歴史を未来に「つなぐ」夏にしましょう！



「仙台七夕の作り手に聞きました」

仙台七夕まつりの魅力は、なんとと言っても笹飾りの美しき。長年、魅力的な笹飾りを手作りし、お祭りを支えているお一人、(株)キクチの菊地節子専務に仙台七夕まつりのとらえ方や楽しみ方についてお話を伺いました。



七夕祭
つながる命「和する」日に

(株)キクチ 専務取締役

菊地 節子 さん

弊社は昭和24年の創業以来、毎年手作り七夕飾りを作り続けてきました。仙台七夕飾りの特徴といえは、七つ飾りを必ず飾ることですが、弊社では、飾りを女性全社員で心を込めて制作します。15メートル程の大竹を商店街の店舗前に埋めてある筒に立てる力仕事は、男性社員総出で行っています。

長年携わっていますと、七夕から気付かされることが多いです。例えば、七つ飾りの一つである「吹き流し」は、はた織や技芸の上達を願って飾られたと言われていますが、私はそれだけではないような気がしていました。織り姫は、はたを織るだけでなく、人の縁を織り成していたのではないかと、五色の肌を美しく織り成していたと思えるのです。

また、吹き流しの青・赤・黄・白黒の5色から全ての色が生まれることから、七夕は色のお祭りでもあります。違いますが、私達からこそ、お互いの色が引き立つのですが、「吹き流し」は人も同じで、お互いを引き立て合うのが、幸せで美しいと教えてくれます。

母の作る七夕飾りを見て育ち、作り手となってから35年、毎年作り飾り続けて、至った思い、伝えたい思いを、和歌で詠んでみました。

七夕祭 同根異葉の 竹の園

つながる命 共に寿ぐ

(意) 竹は一本ずつ生えていように見えますが、見えない根は地面の下でつながっています。

私たちの命も両親そして大勢のご先祖様と遙かな時をつないで、今を共に生きる、つながる命です。命の時をさらにずつとさかのぼれば、地球上の命は、皆つながっているのです。宇宙、地球号で共に生きる人類、五色の人類が集い、共に生きる喜びを言祝ぎ、和する、竹の園の七夕祭です。

七夕飾りを彩る多くの色にも象徴される、多様性が進んだ社会は、身口意において豊かさが増しますが、比例するように和することが難しくなります。他宗教・他国・他民族、等々。

日本人には和の精神が古来より宿っていると感じます。日本は未来に向けて、宇宙船地球号を和するリーダーです。

一年に一度の仙台七夕まつりが、和することを共に目ざし確かめ合う日になれば、それを仙台七夕から世界に発信できればと思っています。伝え、つなげなければと思っているのです。

今年は大きな笹飾りだけでなく、8月1日〜8日まで四丁目商店街で飾られている子供たちや市民手作り小竹七夕にも注目してください。いつもと違う発見ができ、七夕飾りを身近に感じて頂けると思っています。

※身口意とは…仏教語だが、三文字で「人間の一切の活動」を表す。



株キクチの店先に飾られる小竹七夕

「伝統の七つ飾り」

仙台七夕には「七つ飾り」と言われる必須アイテムがあり、それぞれに深い思いが込められています。

短冊

6日の早朝、カラトリ(サトイモ)の葉にたまった夜露をころがし、小川で洗い清めた硯にうつし取って墨をすり、詩歌や「七夕」「天の川」などと書いて、歌や書の上達を願った。現在は願い事を書く。

吹き流し

昔の織り糸を垂らした形を表していて、はた織や技芸の上達を願った。青・赤・黄・白黒の5色から全ての色が生まれることにより、七夕は色の祭でもある。違う色だからこそお互いの色が引き立つのだが、人もお互いが引き立てあうのが幸せで美しいと教えてくれる。

折鶴

延命長寿の願いが込められている。かつては一家の最年長者の年の数だけ折って吊した。

投網

豊漁を祈ると同時に、豊作を祈った。「今年の幸運を寄せ集める」という意味も含まれている。

屑籠

清潔と節約の大切さを養うために、和紙飾りの裁ち屑を中に入れて下げる。

巾着

富貴を願いながら、節約、貯蓄の心を養う。

紙衣

裁縫や技芸が上達するようにとの願いをかけた。子供が丈夫に育つよう、病や災いを身代わりにして流す形代の意味もある。



仙台七夕を未来につなぐ人たち

初日の6日には、「団体」と「個人」による飾り付け審査が行われ、金・銀・銅の各賞が午後発表されます。昨年、団体審査で金賞を受賞した商店街の皆さんに今年の七夕にける意気込みを伺いました。

クリスロード商店街振興組合

七夕は仙台人の誇りです。

クリスロード商店街振興組合 理事長
 (株)セザーヌ 代表取締役



鈴木 泰爾 さん
 すずき ひろみ

先日九州の旅館を訪れた時、仙台から来たことを告げると、女将さんに「あの七夕まつりで有名な仙台ですね」と言われました。同様の経験をお持ちの方は少なくないでしょう。

仙台七夕まつりの意義は、まさにそこにあるのだと思いますし、だからこそ、仙台を代表する祭りであるとも言えるのではないのでしょうか。

ですから、商店街としてもできるだけ多くの個店に七夕飾りの掲出をお願いしますし、私の店の飾りも、ひげをとらない飾りを出そうという気持ちで気合いを入れております。



(株)セザーヌ飾り：銀賞

「仙台の街中の賑わいは、仙台人の無意識の誇りである」とも考えておりまして、その誇りを継続していくためにも、一人でも多くの市民の皆さんにここで買い物を楽しんでいただき、賑わいの創出に協力していただけるとありがたいですね。私たち個店も魅力的な商品を提供する努力を続けてまいります。



一番町四丁目商店街振興組合

青空にたなびく笹飾りをぜひ。

(株)久保田本店 代表取締役社長



久保田 定 さん
 くぼた きたむ

仙台七夕への飾り掲出は今年で3回目になります。昨年は個人賞の銅賞をいただいたこともあり、弊社の飾りの前で記念撮影をしてくださる方がたくさんいらっしゃいました。それが社員にとっても良い意味でのプレッシャーになったようで、今年は若手職員が中心となって飾りのデザイナーを考えるなど、見学されるお客さまにご満足いただけるよう準備を進めています。

一番町四丁目商店街は、アーケードが吹き抜けになっているので、青空にたなびく笹飾りを見ていただくには絶好の場所。期間中は、雨に降られないか気が気ではありませんが、今年も空とにらめっこをしながら、訪れてくださった皆さまを精一杯の気持ちでお迎えするつもりです。

古き良き伝統の様式を継承しつつ、どこか斬新さを織り交ぜた笹飾りを社員一同、知恵を絞ってデザインしました。皆さま、ぜひ6日の朝をお楽しみに。

仙台朝市商店街振興組合

「仙台の台所」を誇りに。

(株)今庄青果 代表取締役社長

庄子 泰雄 さん
 しょうじ やすお

(株)今庄青果 代表取締役専務

庄子 泰浩 さん
 しょうじ やすひろ



仙台駅前朝市に七夕飾りを出したのは15年ほど前。ここ朝市は「仙台の台所」とも言われていますし、地元の方々はもちろん、さまざまな地方から足を運んでくださった方々に、飾りを見て喜んで欲しいという一心で始めました。その思いを朝市の皆さんが理解し、一丸となって協力してくれるので本当に助かります。私の店では昨年に引き続き、今年も仕掛けもの飾りを用意して「よっこそ朝市へ よっこそ仙台へ 復興を応援します」という気持ちを伝えたいと思います。皆さん、ぜひ遊びに来てください。(庄子社長談)

私の店では社長である父に、飾りのすべてを一任して作ってもらっています。仕掛けものにはこだわりたい、見上げる楽しさ、わくわく感を伝えていきたいという思いがあるからです。仕掛けものを設置するのに、売り場の一部をつぶしてしまうのですが、これこそが「伊達の粋」なのかなとも思っています。来てくれたお客さまに喜んでいただきたいながら、朝市の「食べ物」を通して、宮城を知っていただく機会になればうれしいですね。(庄子専務談)



(株)今庄青果本店 仕掛けもの飾り：金賞

仙台駅前商店街振興組合



「仙台の玄関口」として奮闘。

仙台駅前商店街振興組合 理事長
 円達企業(株) 代表取締役社長

よこやま ひろし
 横山 治 さん

当商店街は、エリアが広域なため密集した飾りの掲出は難しいのですが、企画力と統一感で街の魅力を表現しています。例えば、シルバースクエアのお年寄りや仙台白百合学園の生徒さん、我々商店街の3者でミニ小竹飾りを制作し、各店に設置。街の統一感を演出するとともに、若者に七夕の文化を伝える活動を行っています。

観光客の皆さんが、仙台駅を出て最初に目にされるのは当商店街の七夕飾りです。仙台の玄関口を担う商店街として、写真スポットにもなるウエルカムボードを設置したり、毎月10日に実施している清掃活動デーを8月は5日に早めたりと、おもてなしの体制を整えています。市民の皆さんも、観光客の皆さんも楽しんでいただける3日間となるよう、縁の下の力持ちとして今年も奮闘します。



円達企業(株)飾り：銀賞



荒町商店街振興組合



(株)奥江呉服店 代表取締役

さいとう たかとし
 佐藤 隆俊 さん

見どころは町並みとの調和。

荒町商店街の七夕は、なんとといっても12m幅の道路に連なる昔ながらの笹飾りが特徴。その一体感が街の自慢でもありません。昨年は初日に突然の集中豪雨に見舞われ、ほとんどの飾りが掲出してから数時間のうちに壊れてしまいました。通行人やドライバーの安全を考慮し、断腸の思いですべての飾りを撤去。今年はその悔しさも七夕への意気込みにプラスされています。

個店の特色を生かした笹飾りも荒町の見どころ。お弁当屋さんには卵のパックを飾りに加工したり、お酒屋さんには酒ラベルを吹き流しにしたり、手作りならではの温もりがここにはあります。どんな飾りが出現するかは当日のお楽しみですが、独創的なアイデア溢れる笹飾りが皆さんをお迎えします。飾りと町並みの調和をぜひ見いらしてください。

(株)奥江呉服店飾り：金賞

根白石商店会



全員参加で町をアピール。

(株)高長商店 代表取締役
 根白石商店会 会長

たかはし ちようや
 高橋 長也 さん

今年「希望」をテーマに、鉢植えミニ七夕100本以上の掲出を目指して準備を進めています。最近、周辺の福祉・介護施設も飾りづくりに参加してくださり、その関係者などで見物客が増えてきているんです。ですから、より一層お年寄りや子どもたちが安全に七夕を見物できるように町全体で受け入れ体制を整えています。

根白石でも「見せる七夕」色が強まっていますが、七夕本来の「願い」や「祈り」、「家庭の風習」という原点に返り、一般家庭や、子どもから高齢者まで、気軽に参加できる雰囲気づくりに努めています。

七夕は根白石にたくさんの方が訪れ、町をアピールできる大事な3日間だと思っています。鉢植えミニ七夕は、見る方の目線にきれいな緑の笹がある絶好のシャッタースポットです。で、中心部とはひと味違った飾りを楽しみに、ぜひ根白石にお越しください。



根白石商店会の小竹飾り



希望、未来への道 (グリーンベルト)
LEDで彩られた竹のアーチと、30基のメッセージ行燈が幻想的。夜の撮影スポットにおすすです。



絆、願いの道 (グリーンベルト)
全国からいただいた支援短冊や折鶴を掲出。短冊記入ブースや石巻復興支援ブースも登場します。



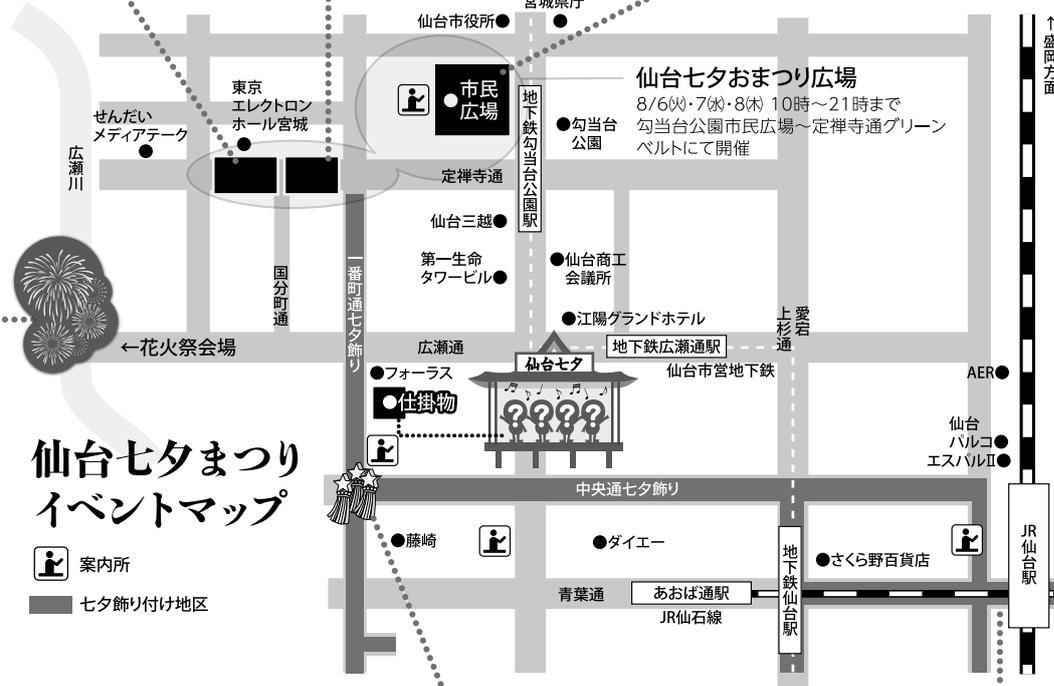
ふれあいの広場
パフォーマンスステージや短冊記入・七夕飾り作成体験コーナーを設置。つなぎ横丁にはモザイクアートも出現します。



**第44回
仙台七夕花火祭**
七夕まつりの前夜、16,000発の花火が仙台の夜空を彩ります
開催日: 8月5日(月)
(※荒天時は8月9日(金)に順延)
時間: 19時~20時30分(予定)
場所: 西公園付近一帯



瑞宝殿七夕ナイト
期間中、瑞鳳殿の敷地内も七夕飾りで彩られます。ライトアップされた本殿と風になびく七夕飾りのコラボは見ごたえ充分。参道及び境内には竹灯籠も設置されます。
時間: 18時~21時



仙台城跡七夕ナイト
8月6日~7日 18時~21時
奥州・仙台おもてなし集団「伊達武将隊」も登場します。6日~8日の3日間は一泊の仙台「七夕ナイト号」も特別運行。仙台城跡にも臨時停留所が設置されます。



小中学生の飾り
市内小中学生全児童生徒が作成した約8万羽の折鶴が今年も藤崎前に飾られます。



ウェルカムボード
仙台駅には歓迎ボードを設置。撮影スポットにぜひ。

仙台七夕まつりに関するお問合せは
022-265-8185 まで

短冊には「竹紙」を使用
七夕まつり協賛会では、「仙台七夕竹紙プロジェクト」に協力し、「ふれあいの広場」と「絆、願いの道」で配布する短冊に竹紙を使用します。みなさんも竹紙のなめらかな書き心地をぜひ実感してみてください。
※平成24年度に市内事業者が中心となって立ち上げたプロジェクト。仙台市、会議所、七夕まつり協賛会が協力し、仙台七夕まつりで使用した竹竿を回収。「竹紙」として再利用する計画。エコな七夕に向けての取組みが今年本格的に始動します。



七夕まつりフェイスブックページ
<https://www.facebook.com/sendaitanabatamatsuri>
スタッフブログ
<http://ameblo.jp/sendaitanabata2012/>

見どころ
仙台七夕まつり
フェイスブックページ
スタート
昨年はブログ形式の「スタッフだより」を開設。今年は更に多くの方々に七夕の魅力をお知らせするべく、「フェイスブックページ」がスタートしました。新着情報をどんどん掲載していきますのでお見逃しなく。